

Ⅳ めぐるシティカレッジ

1 概要

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐるシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐるシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするものではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、毎回熱意のこもった講座が展開されています。

(開設年度：平成7年度)

2 運営

現在は、任意団体「めぐるシティカレッジ振興会」が運営に当たり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

3 講座内容

令和6年度実施

次のとおり、講座を企画し開講しました。新型コロナウイルス感染症が第5類に位置付けられたことにより、令和6年度から従来どおりの通年制に戻して、会場を目黒区中央町社会教育館で実施しました。

(単位：人)

講 座		主な内容等	定員	応募者数	受講者数
1	目黒学パート30 ～川と橋をめぐる～	地域や人・物を結ぶ橋。動脈となり、文明を生み出していった川。共に歴史の変遷に関わってきた川と橋について、現地実習を織り交ぜながら考察する。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	36	36
2	いま地球で何が起きているのか	人新世という時代名称が提唱されている今、私たちは、地球環境、情報化社会の変化の只中にある。これらの実態を認識し、生きる指針を探る。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	46	46
3	江戸時代の思想と現代	さまざまな思想が誕生し、互いに影響しながら衰退・発展を遂げた江戸時代。当時の思想家、人々は何を考えたのか。日本の近代化、現代に与えた影響を考える。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	39	39
4	見て回る 江戸・東京	東京を見て回ることで、江戸の面影を追憶し、東京の将来を展望することをベースに、武蔵野も含め、忠臣蔵、戦跡、水害などの視点から考察する。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	61	60
合 計			200	182	181